

## 石狩川雨竜区域事後評価第1回第三者委員会議事概要

1. 実施日 平成19年6月8日(金)

2. 場所 北海道深川市、妹背牛町<sup>もせうし</sup>、秩父別町<sup>ちつぷべつ</sup>

3. 出席者

第三者委員 井上 京 北海道大学大学院准教授

” 志賀 永一 北海道大学大学院准教授

” 中嶋 康博 東京大学大学院准教授

” 溝口 勝 東京大学大学院准教授

” 森 久美子 作家・エッセイスト

(敬称略、五十音順)

事務局等 農林水産省農村振興局総務課係長  
(独)緑資源機構計画評価部長 ほか

4. 現地調査の概要

事業参加経営体等の現地調査を行い、事業参加者から事業後の経営状況、地域との関わり、事業の波及的効果等について聞き取りを行った後、意見交換を行った。

5. 第三者委員会の概要

委員長選出

委員長には、全会一致で中嶋委員を選出した。

8月の公表に向けた今後の委員会の運営

第三者委員会の今後の進め方については、今回の委員会での意見・指摘を踏まえ、事務局で資料等の整理を行い、次回の委員会で意見のとりまとめを行うこととした。

意見・指摘等

家屋等での洪水被害の減少については、アンケート調査結果によると農家より非農家の評価が高いことが明らかになったが、このことを効果算定に反映させるためには、CVMなどによるさらなる評価が必要。

経済効果算定資料の作成にあたり、例えば作物生産効果など、事業計画時と事後評価時の諸元の対比状況を分かりやすく説明すること。

甚大な洪水被害だけでなく、軽微な洪水についても、事業によって防止された被害額を推定できるならば、災害防止効果への算入をより詳しく検討することも考えられる。